



総務

Nakanishi
Ikuto

総務部人事課
医学・病院構内人事掛（病院担当）（掛員）

中西 郁人

2009年採用

- 医療技術職員に係る人事業務全般
- 他機関からの人事調査への対応
- 院内の放射線取扱者の被ばく量管理、教育訓練の実施
- 病院職員に対する定期健康診断の実施
- 医療監視や放射線関係監査への対応



1 day Schedule



My KU PRIDE

“大きく学び、大きく働く”

京都大学は日本最高峰の教育機関の一つであり、そこで働く大学職員として、自身も「学ぶ」ということに常に意欲的でありたいと感じています。

また、特定分野の中でタコツボ化しやすい大学という組織環境の中で、既存の枠組みを超えて「大きく」働くことで、学内の風通しをよくするとともに、学外に対しては最高の「窓」の役割を果たせるような、そんな大学職員になりたいと思っています！

Q1 職務内容について



主に放射線技師などの医療技術職員に関する人事関係業務を担当しています。採用試験時の面接から、その後の採用や手当認定、毎月の勤務時間管理や育児休業の手続きなどにも携っており、担当する教職員の京大ライフに密接にかかわる大切な仕事です。

医療技術職員の採用に際しては、関係診療科と綿密な打ち合わせを行ったうえ、公募情報の掲載や、オリエンテーションでの人事制度説明、面接試験への立会いなどを行います。採用内定後は、その後の手続き案内に加え、様々な人事上の質問にも丁寧に対応し、採用当日を安心して迎えていただけるよう心がけています。

京大には教職員のために多くの制度が用意されており、状況に応じて適切かつ丁寧に制度や手続きを案内することで、皆さんの働きやすさの向上に寄与することは、人事担当の大事な使命です。医学部附属病院は京大で最大の部局であり、構成員は3,400人を超えます。他の部局に比べ職種や勤務形態も様々なので、人事担当にとってはまさに絶好の修行の場です。1日も早く人事業務のエキスパートになれるよう、毎日一生懸命研鑽を重ねています。

Q2 入職前と入職後のギャップ



「え、大学でそんな仕事もできるの!？」という(いい意味での)驚きがたくさんありました。私自身、災害医療チームDMATの隊員として東日本大震災の救援に向かったり、出向先の曾爾(そに)青少年自然の家では、子どもたちの長期キャンプの企画や、着ぐるみを着て可愛い動作を追及したりもしました。今までに携わったいろいろな仕事や、そこで出会った人達によって、今の自分が出来上がっていると強く感じています。「大学」という枠を大きく超え、日々新しいものを生み出し、世界に向かって広がり続ける京大は、まさに成長し続けるジャングルです。このジャングルで皆さんとどんな仕事をつくっていただけるのか、今からとても楽しみにしています。

Q3 入職後、一番印象的だった出来事



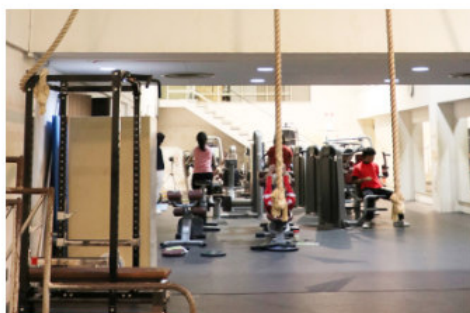
昨年、韓国のKAISTで開催された国際フォーラムに参加できたことが、とても印象に残っています。このフォーラムは大学職員の人材マネジメントがテーマであったため、当時研修の担当をしていた私に声がかかり、国際交流課の全面的な支援を受けながら、理事の英語でのプレゼン資料作成にも携わらせていただきました。正直英語には苦手意識があり、当日のレセプション時に日本の人事制度についての説明を求められた際、うまく答えられず非常に歯がゆい思いもしました。ただ、理事がフォーラムでの講演で、「日本の大学職員は英語から逃げている。だからこそ、まずは私が英語から逃げないという姿勢を見せるために、今ここに立っているのです。」とおっしゃったことが非常に心に響きました。それ以来、少しずつ英語の勉強を続けています。

Q4 京大職員を目指す方へのメッセージ



京大職員に興味をもってください本当にありがとうございます。昨今、「教職共働」が大学業界のキーワードとなり、今までのような後方支援だけではなく、先生方と同じ水準で、共に働くということが求められています。言ってしまうえば、京大職員には京大の教授陣と同じレベル（当然事務分野においてはそれ以上）の働きが求められている、ということです。京大ブランドの上にあぐらをかくような小さなプライドではなく、各人が理想を掲げ、共有し、京都大学のために働くことを通じて自然に生まれてくるような、そんな「KU PRIDE」を目指して、ぜひ一緒に頑張りましょう！

Q5 私のお気に入り



何と言っても体育館のジムがお気に入りです。マシンも最新のものが10種類以上ありますし、バーベルやよじ登り用のロープも完備されています。ムキムキの京大学生に交じってトレーニングしていると、こちらも負けてられないという気持ちにもなります。また、夏季限定で解放される屋外プールも魅力的です。よく晴れた昼休みに、気軽に泳ぎに行けるということは、幸せ以外の何物でもありません。今から次の夏が楽しみです。